



○今回の「ウールあいちニュース」はいかがでしたか?ご意見ご感想を(財)あいち男女共同参画財団情報相談課までお寄せください。

○「ウールあいちニュース」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。特集記事等(バックナンバーを含む)は、ホームページで見ることができます。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

ウールあいち

お知らせ

女性のチャレンジ相談

「何かしたい」「何か始めたい」というあなたに合ったチャレンジを支援する無料の相談窓口です。キャリアカウンセリングなどの実績豊富な女性の相談員が専門的なアドバイスや情報を提供します。

(1) 就業相談(就職、キャリアアップ、資格取得)

- 個別相談 第1・2水曜日・第3土曜日(原則として) 1日2名 ①13:00、②14:00(各45分)(定員になり次第締切)
- グループ相談 第2水曜日(原則として)

月日	テーマ
10月14日(水)	アピールしよう!応募書類・採用面接
11月11日(水)	考えてみよう!私らしい働き方と適性
12月9日(水)	語ってみよう!これまでの私・これからの私

定員各回10名 10:00~12:00(定員になり次第締切)

(2) 起業相談(起業、NPO活動、地域活動)

- 偶数月第3水曜日 1日5名(定員になり次第締切) ①9:30 ②10:30 ③11:30 ④13:00 ⑤14:00

●申込み・問い合わせ先

(財)あいち男女共同参画財団 総務企画課  
電話052-962-2512

施設の案内

- 開館時間** 9:00~21:00
- 情報ライブラリー 9:00~19:00(日曜9:00~17:00)
  - 相談コーナー 受付時間 9:00~12:00 12:45~16:30(土・日曜は16:00まで)

- 休館日**
- 毎週月曜日(祝日の場合は翌日も休館)
  - 国民の祝日(土・日に当たるときは開館)
  - 年末年始(12月29日~1月3日)
  - \*ただし、電話による施設予約は休館日の9:00~17:00も受け付けます。(年末年始を除く)
  - \*宿泊施設は、年末年始以外はすべてご利用いただけます。
  - \*情報ライブラリーは、毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日も休館)も休館します。



ウールあいち 愛知県女性総合センター

〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1番地  
代表電話 052-962-2511 FAX 052-962-2567  
<http://www.will.pref.aichi.jp/>

- 交通のご案内**
- 地下鉄「市役所」駅2番出口 東へ徒歩約10分
  - 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
  - 基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分
  - 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分
  - 駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。

**施設管理者** コングレ・愛知グループ(指定管理者)  
※情報ライブラリー、相談コーナーは、財団法人あいち男女共同参画財団が運営しています。

「女・男 ともに輝く情報誌」

Will Aichi News

ウールあいちニュース No.65 2009 秋

編集・発行/愛知県 財団法人あいち男女共同参画財団

農村の女性起業

農村の女性たちの起業が農業の活性化につながっています。今回は、農村の女性起業と農業を考えます。

- 情報ライブラリーから
- 秋のイベント
- 講座レポート
- 相談コーナーから
- 愛知県のトピックス
- 男女共同参画まんが「ウールおじさん」
- ウールあいちのお知らせ



## 農村の女性起業

食を通して、農村と都市はつながっています。  
今回は、農山漁村と都市の女性をつなぐ活動に取り組み、  
農村女性の起業支援をされている、  
(株)WAN研究所 代表取締役 山崎久民さんにご執筆いただきました。

# 農村女性起業と都市生活者

山崎 久民



## 始まった農村女性起業者との お付き合い

1980年、私は、横浜南部地域で有機農業を営む農業者と提携し、食べ物の会を夫とともに始めました。水俣病の被害にあった漁業者たちが甘夏の生産を始め、その甘夏の共同購入を友人から依頼されたのがきっかけでした。それが私にとって、農業者とのお付き合いの始まりでした。そして、1999年に「農山漁村女性の自立なくして女性の自立なし」を合い言葉に、「WAN『女と農』ネットワーク」を立ち上げました。WANは、Women & Agriculture Network の頭文字で

す。WANの会員は農政関係の公務員や女性農業者が中心で、「農山漁村と都市の女性をつなぎ、ともにエンパワメントすること」と「私たちの命綱である農山漁村を大切に、人間らしい生き方を可能にすること」を目指してセミナーや交流会などの企画・開催をしてきました。(2008年末解散)

一方で、高校卒業後就職した大手企業で体験した男女差別がきっかけでジェンダーへ関心を持つようになり、税理士になって、いわゆる「103万円の壁」「年金第3号被保険者」問題に取り組むことになりました。

2005年には、その二つの流れを一つにしたWAN研究所を設立して、農村女性起業支援の仕事を始めました。

## 農村女性起業の現状

女性起業数の動向、年間売上げをそれぞれ別表に示しましたが、実態調査の始まった平成9年度の起業数は4,040件、平成19年度では9,533件になっており、約2.4倍になっています。そもそも、農村女性起業は、農林水産省の施策の一環として農村女性の能力向上と能力開発に有効なシステムとして位置づけられ、多くは自治体職員などに後押しされてスタートしました。起業件数がこのように急激に伸びた背景にはそうした事情があるものと思われます。売上高が500万円未満の小規模事業者が66.5%を占めており、概して事業規模が小さいのも先述した事情があり、「起業」が「経済活動」との認識が弱かったためといえるでしょう。

## 女性起業が農村地域に果たす役割

諸外国に比較し、わが国の食料自給率は41%ときわめて低い水準となっています。自給率41%の数字は、農業の衰退と農村地域の疲弊を示しています。また、中山間地の多くが、緊急施策が必要だと「警告」を含めた言葉として「限界集落」と呼ばれるようになりました。

そうした衰退傾向にある農業・農村に、農村女性たちの起業は多くの可能性を運び込みました。地域で生産される農作物を原材料に加工食品を製造・販売する、農家レストランや直売所を運営する、都市住民と交流のできる体験観光を行う等々の事業があちこちで花開き始めました。全国区をターゲットにネット販売する起業家も出現しました。

物やサービスを販売するといった経済活動により、その成果が目に見えるようになりました。これは、農村女性にとって画期的なことです。「お金」を握った女性たちは自分たちの存在に自信を持ち、稼げるがゆえに家庭内での地位も上がり、継続した事業活動は地域経済をも活性化します。9,500件を超えた起業家の中から、本格的「企業家」が続々育っていき、疲弊した農業・農村の活性化に貢献することは間違いありません。

## 農業者と都市生活者の共同参画へ

私たちの食卓は、おおよそ60%の外国産の食料で占められています。私たちが食べ物の会を始めた1980年には自給率は52%でしたが、この30年間に11%も下がりました。これは、都市生活者が国内産の食料購入から外国産の食料購入に軸足を移してしまった結果です。近年、食糧安産だ、環境保全だなどといわれ、自国農業を見直すべきだとの意見がずいぶん聞かれるようになりましたし、農林水産省も自給率アップを施策目標に掲げるようになりました。しかし、各種の統計数字からは、都市生活者の消費行動がそれほど変化したようにはみえません。「農業」は都市生活者も含めた私たち全体の問題と捉えるべきなのですが、都市生活者は「農業者自身もですが、「農業者の問題」だと考えています。

農村女性起業家育てが施策として動き出して10年以上経ちますが、最近では、マスメディアや各地の女性センターが関心を示すようになりました。しかし、そのいずれもがブームに乗った農村女性起業の単なる紹介にとどまっています。

農村女性起業の活躍はめざましいですし、期待も大きいのですが、背景には見過ごすことのできない農業再生への困難さが潜んでいます。都市生活者がそのことを理解し、ともに背負わなければ日本の農業そのものが再生しないのです。都市生活者の果たすべき役割は重く、私たちの暮らし方が問われています。

農村の女性起業が増えて農村の活性化が期待できる今こそ、日本の農業が置かれている厳しい現状に目を向け、農業者と都市生活者が共同参画して農業を守っていくことを考える好機だと思います。

(別表) 農村女性起業数の推移と事業規模

平成9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
4,040	6,039	6,218	6,824	7,327	7,735	8,186	8,667	9,050	9,444	9,533

平成19年度 個人経営:3,944件(41.4%) グループ経営:5,589件(58.6%)

販売金額	件数	割合
300万円以下	5,250件	(55.1%)
300万円~500万円	1,086件	(11.4%)
500万円~1,000万円	1,085件	(11.4%)
1,000万円~5,000万円	1,041件	(10.9%)
5,000万円以上	243件	(2.5%)
不明	828件	(8.7%)

資料:農林水産省経営局普及・女性課「農村女性による起業活動実態調査」より

やまざき ひさみ  
山崎 久民さん プロフィール

(株)WAN研究所 代表取締役/税理士

ジェンダーの視点から女性農業者の問題に取り組み、各種交流会、情報発信、女性の起業支援など多岐にわたる活動を行っている。

主な書著『成功する農村女性起業』(共著、家の光協会)『イチ子の遺言』(共著、ユック舎)など。

## ～情報ライブラリーフェスタを開催します～

情報ライブラリーでは、10月の愛知県男女共同参画月間に合わせて「理系のススメ」をテーマにイベントを行います。今後ますます女性の活躍が期待される理系分野への関心を深めていただけるよう、講演会と関連図書の展示などを行います。中高生や保護者の皆さん、科学に興味のある方、ぜひご参加ください。

### 講演会

#### 「好きを仕事にする力～科学に魅せられて～」

〈日時〉平成21年10月24日(土)  
14:00～16:00(13:30開場)  
〈会場〉ウィルあいち 3階 大会議室  
〈講師〉東京大学大学院理学系研究科  
准教授 横山広美さん  
〈定員〉120名(男女問わず、入場無料)  
〈申込方法〉①住所②氏名(ふりがな)  
③年齢④性別⑤電話番号⑥託児をご希望  
の方はお子さんの名前・年齢・性別を明記の上、10月16日(金)までに  
往復はがき、FAX、Eメール、ウィルあいちのホームページのいずれか  
でお申込ください。



「光と人の物語」で2007年  
科学ジャーナリスト賞受賞

〈問い合わせ先〉財団法人あいち男女共同参画財団 情報相談課  
電話 052-962-2513 FAX 052-962-2477 Eメール johou@will.pref.aichi.jp  
ホームページ <http://www.will.pref.aichi.jp>

### 情報ライブラリー展示

〈期間〉10月1日(木)～10月31日(土)  
9:00～19:00(日曜は17:00まで)  
〈場所〉ウィルあいち1階 情報ライブラリー  
〈内容〉関連図書の展示・貸出/情報発信コーナー  
上記のほか、10月24日(土)から31日(土)ま  
で、「はがき1枚からの男女共同参画」入賞作  
品の展示を行います。

※詳細はちらし、ホームページをご覧ください。

## 情報ライブラリーから

### 「農で輝く」

私たちの食卓に欠かすことのできない農産物。生産の現場に関心を持ち続けることは、日本の農業を守るうえでも大切なことではないでしょうか。今回は、「おいしくて、安全なもの」との思いで農に関わる人々や、ビジネスとして成功した例などを紹介します。

#### 『成功する農村女性起業 仕事・地域・自分づくり』

岩崎由美子、宮城道子編 (家の光協会) 2001.1

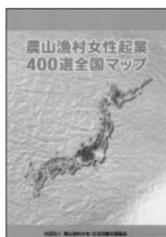
農村での女性起業は、新しい働き方の選択肢を女性に提供する。そして、女性たちが自ら仕事をつくることで、女性たちの果たしてきた役割を経済的に明らかにし、農村女性の自立を促す。自立することにより女性たちに自信が生まれ、地域が活性化することにつながると述べる。本書は、農村の女性起業における成功事例を分析しながら、ノウハウや起業家たちの歩みなどについて詳細に報告し、多様化する農村女性の起業をさまざまな視点からさぐる。



#### 『農山漁村女性起業400選全国マップ』

(農山漁村女性・生活活動支援協会) 2006.3

農村レストランや手作り体験施設、地域農産物を活用した加工品販売など、多方面にわたる「起業」が近年女性たちの手によって展開されている。本書は、農山漁村の女性たちによる400余の起業事例について、北海道～沖縄までマップつきで紹介する(平成18年3月時点)。地産地消にこだわるグループや、おすすめの郷土料理・地域特産物を提供するグループなど、元気な女性たちのお店が満載。地図付きなので、晴れた日にドライブで立ち寄ってみては?



#### 『新農民になろう! 就農計画の設計と実例』

伊藤裕樹監修(技術評論社) 2009.2

有機栽培や、こだわりのコメ作り、観光農園、生産物を活かしたカフェ経営やインターネット直販など工夫次第で「農」の魅力・可能性は無限大に。本書は、さまざまな新規就農の形と農村での暮らしを紹介する。また、気になる就農資金の内訳や住まいの確保など、就農までのプロセスと注意点や事業展開のポイントなどを記載。農業をこれから始めようと考えている人はもちろん、既に就農している人にとっても新しいアイデアやヒントになる一冊。



〈問い合わせ先〉ウィルあいち情報ライブラリー 電話 052-962-2510

### 秋のイベント

今年のフェスタも盛りだくさん!!

## ウィルあいちフェスタ2009

男女共同参画をテーマとした展示から、チャリティーコンサート、今話題の方をお招きした講演会、ココロとカラダを見つめなおすセミナーや相談会など、26の団体・グループによるバラエティーに富んだ企画が目白押しです。

開催日時:11月14日(土) 9:30～16:30(イベントにより異なります。)

### 【イベント内容】

終日		
ウィルあいちフェスタ「大茶会」	あいち女性面白マップ2009	
午前		
講演会 「反貧困から築く格差のない社会、 女性も男性も～最前線のレポートと展望～」 講師:湯浅誠	公開読書会 芥川賞受賞作(2009) 『終の住処』(磯崎憲一郎著)を読む	ちょっと変わった・アート鑑賞講座
エコクラフト「きものを切る」を考え直す ～Tシャツ2枚の布ぞうり創り&講演会～	女性医師による健康相談 ～医療上の悩みに無料で相談に応じます～	アルミ缶リサイクルアート制作会
女性のための自己実現セミナー ～「私」という原石の輝き方～	心と体のセルフメンテナンス ～骨盤調整と筋膜調整～	
午後		
国際交流はなのき会30周年記念 「ナターシャ・グジー チャリティーコンサート」	フットセラピー(足操術)体験会 ～あなたは足をいたわっていますか?～	コスモス秋のおはなし会
うちの子はADHD? ～注意欠陥・多動の子供への 理解と子育て方法～	自分探検! ～ちょっとレトロな検査体験&仕事相談会～	講演会 「名古屋市をフェア・トレード・タウンに!」
名古屋友禅の伝統的技術・技法を用いた 和の口ハス ～世界に一つの「風呂敷」作り～	伝えようふるさとの芸能 ミニコンサート&ワークショップ	卵もバターも使わない ヘルシースイーツ教室vol.3
あなたはどれだけ自分のこと好きですか ～エゴグラムから自分を見つめる～	きものde学ぶ 伝統文化と着付講習会	女性の創業(ゆめ)応援します!! ～女性起業家応援セミナー～
「得とくセミナー」⑨ ～地域で紹介・大切にしたいお店・会社～	ビデオ上映会 『裁きは終わりぬ』 ～1950年度ヴェネチア国際映画祭受賞作品～	優しい、易しいエアロビクス ～心もからだもリフレッシュ!～
やってみよう、自律整体としての操体法		

〈申込等〉一部のイベントにつきましては、事前の申込みが必要です。  
詳細につきましては、チラシ・ホームページをご覧ください。

〈託児〉ウィルあいちフェスタ開催中、満1歳半以上、就学前までのお子さんをお預かりします。  
ただし、当日体の調子が悪い(発熱・感染症疾患等)おさんは、お預かりできません。  
10月30日(金)までに下記へ、電話で予約してください。  
おやつ代と保険料としてお子さんお一人につき、150円いただきます。

〈問い合わせ先〉財団法人あいち男女共同参画財団 総務企画課  
電話 052-962-2512 FAX 052-962-2477 Eメール kikaku@will.pref.aichi.jp  
ホームページ <http://www.will.pref.aichi.jp/>

## 講座レポート

### 春の公開講座のレポートを紹介します。

理工系分野に女性を増やしたい。日本の理工系分野では女性の科学者の割合は10%程度です。そこで、理工系分野を理解するために、第一線で活躍されている女性科学技術者、JAXAフライトディレクターの松浦真弓さんを講師にお迎えし、「宇宙へ飛び立つ、地上からのサポート～女性が活躍する新たな分野～」をテーマに5月31日(日)に公開講座を開催しました。

松浦さんは、国際宇宙ステーション(ISS)に設置された「きぼう」日本実験棟の運用管制チームを指揮する日本人初のフライトディレクターです。2008年2月から組み立てが始まり今年7月によろやく完成した「きぼう」を、3交代で24時間365日運用し、宇宙飛行士を支えています。

国際宇宙ステーションや「きぼう」日本実験棟の組み立て、プロジェクトなどの説明のあと、「きぼう」の内部写真や若田光一さん始め宇宙飛行士たちによる実験の貴重な映像を見せていただきました。



また、国際宇宙ステーションからの地球の映像には、参加者全員、その美しさに声を失うほどでした。

講演後の質疑では「ISSで重大な事故が発生した場合はどうするのか。」という質問に「スペースシャトルには脱出用に宇宙船が用意されている。」という回答がありました。参加者からは「理工系の女性が活躍していて、とても心強かった。」「人類の将来のために活躍している方々の存在が身近に感じられた。」などの感想をいただきました。



#### ■相談コーナー専用ダイヤル TEL 052-962-2614

◇受付時間 火～金曜日 9:00～12:00、12:45～16:30  
土・日曜日 9:00～12:00、12:45～16:00

#### ■DV専門電話相談専用ダイヤル TEL 052-962-2568

◇受付時間 原則として第1週のみ水曜日、  
その他の週は土曜日 14:00～15:30

今回は、「女性のための法律相談」と「DV専門電話相談」について紹介します。

### 女性のための法律相談

離婚、相続、金銭や不動産など身のまわりの法律相談について、女性の弁護士がアドバイスします。面接による相談で、予約が必要です。相談員が電話相談で相談者の直面している状況や問題をお聞きした後、予約をお入れします。まずは、相談コーナー専用ダイヤル(TEL 052-962-2614)にお電話ください。

#### ●B子さんの事例

相続のことで法律相談を申し込みたいと、あわてた様子で電話をかけてこられたB子さん。まず、電話相談で相談の内容をお聞きしました。「実家の父親が亡くなったのですが、昨日急に兄が相続の書類に印鑑がほしいと電話してきました。押さなければいけませんか。法律のことは疎いので弁護士の相談を申し込みたいのです。」とおっしゃいました。「相続の書類」とはどのような書類なのかなど、事実関係をもう少し具体的に調べたうえで、お越しいただくようお伝えして、予約をお入れしました。

### DV専門電話相談

配偶者やパートナーからの暴力(DV)にかかる法的な問題について、弁護士が電話でアドバイスします。DV専門電話相談専用ダイヤル(TEL 052-962-2568)にお電話ください。こちらは予約制ではありませんので、直接おかけください。

#### ●C子さんの事例

C子さんは会社員の夫と中学生と小学生の子どもの4人暮らし。夫は家の外では温厚な人で通っていますが、家庭では暴言がひどく、C子さんをばかにして怒鳴り散らします。お酒を飲むと暴言はさらにひどくなり、C子さんや子どもたちに手を上げることもあります。いつかは変わってくれるのではないかと頑張ってきたのですが、最近、子どもたちが精神的に不安定になり、不登校の兆候が見られるようになりました。このままではいけないと思い、C子さんは夫との離婚を考え始め、相談コーナーに電話をされました。離婚手続きや金銭面での法的なことを知りたいとのことでしたので、「DV専門電話相談」をご案内し、あらためて電話をしていただくことになりました。

※事例はプライバシー保護のため、実際の相談とは設定や状況を変えてあります。

## 愛知県のトピックス

### 「2009あいち男女共同参画のつどい」を開催します

華道 石田流家元 石田秀翠氏による講演「万葉集の植物たち」など、男女共同参画について考えるつどいを開催します。

〈日時〉 平成21年10月8日(木) 13:00～15:40  
〈場所〉 ウィルあいち 4階 ウィルホール  
〈内容〉 ◆式典及び男女共同参画推進活動者表彰式  
◆講演「万葉集の植物たち」  
講師:石田秀翠氏(華道 石田流家元)

〈募集人員〉 800名  
〈参加費〉 無料  
〈問い合わせ先〉 愛知県女性団体連盟事務局 電話 052-962-2637



### チャレンジ女性応援モデル事業「命のつながり男と女の役割 = 生物多様性(COP10)と男女共同参画=」を開催します

チャレンジ女性応援モデル事業として、女性の地域活動へのチャレンジを支援するため、生物多様性と男女共同参画について考えるフォーラムを開催します。

〈日時〉 平成21年12月13日(日) 13:00～16:00  
〈場所〉 知多勤労文化会館(やまももホール)  
〈内容〉 ◆講演「一歩ふみだしてみませんか?」  
講師:広岡たつみ氏(石川おんなのスペース副代表)  
◆パネルディスカッション

〈募集人員〉 350人  
〈参加費〉 無料  
〈企画運営〉 地域開発みちの会  
〈申込方法〉 「フォーラム参加希望」と明記し、住所、氏名、電話番号、託児の希望の有無(有の場合は、お子様の氏名・年齢)をご記入の上、はがき・FAX・Eメールで、下記申込先まで  
〈申込締切〉 平成21年11月30日(月)(先着順)  
〈申込み・問い合わせ先〉 愛知県県民生活部男女共同参画室  
〒460-8501 (住所不要)  
電話 052-954-6178 FAX 052-971-8736  
Eメール danjo@pref.aichi.lg.jp

### 11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です

暴力は決して許されるものではありません。特に配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春・人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

女性に対する暴力を根絶するよう社会全体で取り組むとともに、被害に遭われた方は、一人で悩まず、専門機関に相談することが大切です。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

#### ◆愛知県では専門窓口を設けています◆

#### ●愛知県女性相談センター

女性の悩みごと相談(電話相談) 月～金 9:00～21:00 電話 052-913-3300  
面接相談(要予約) 月～金 9:00～17:00 電話 052-913-1101

#### ●ウィルあいち(愛知県女性総合センター)

弁護士によるDV専門電話相談 毎週土曜日(第1週のみ水曜日)  
14:00～15:30 電話 052-962-2568